

現代会計研究

担当者 山本 誠

開講時期 後期

単 位 2

●講義の概要

現代の経済社会においては、多くの企業は企業集団に所属している。この企業集団に所属する個別企業の企業分析をなす際には、その企業の個別財務諸表と同様に、企業集団全体の経営成績や財政状態を表す連結財務諸表が重要な役割を果たすことになる。

欧米や国際会計基準においては、個別財務諸表よりも、むしろ連結財務諸表の方に会計的役割の重心がおかれている。わが国でも、会社法に連結計算書類の規定が入り、連結会計の法的会計制度がほぼ完備している。

連結会計の構造と分析をマスターすることは、わが国のこれからの会計環境に適応するための必須の要件である。

●講義の到達目標

国際会計基準（国際財務報告基準）導入への動きがわが国でも加速化している現在、連結会計を会計制度の基盤として根付かせることは、国家的な課題でもある。本講座では、連結会計に関する理論的・実務的な知識を修得するとともに、連結会計情報などの有用性を高めるための手法としての税効果会計の理論的・実務的な知識も身につける。

●講義計画

- 第1回：連結会計の歴史
- 第2回：連結会計の概要
- 第3回：連結範囲の確定基準
- 第4回：連結貸借対照表の構造
- 第5回：連結貸借対照表の分析
- 第6回：連結損益計算書の構造
- 第7回：連結損益計算書の分析
- 第8回：連結キャッシュ・フロー計算書の構造と分析
- 第9回：連結株主資本等変動計算書の構造と分析
- 第10回：持分法会計
- 第11回：税効果会計Ⅰ（税効果会計の原理）
- 第12回：税効果会計Ⅱ（資産負債法と繰延法）
- 第13回：税効果会計Ⅲ（繰延税金項目の会計処理）
- 第14回：課題発表と質疑応答（1）
- 第15回：課題発表と質疑応答（2）

●成績評価基準と方法

出席状況、報告内容およびレポートなどをもとに総合評価する。評点配分は、次の通りである。

報告内容50点、レポート50点（合計100点）

（注）出席回数が3分の2以下のときには、D評価とする。

●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕

開講時に指示する。

〔参考文献〕

授業中に適宜指示する。

●受講上の留意点

会計法規集や六法全書の会計規定に目を通す習慣を身につけてください。